

～高等学校「授業後」編～

長野県総合教育センター 生徒指導・特別支援教育部

ミニワーク

➤ 「ふりかえりシート」を記入しましょう。

[illegible]

観点	ふりかへる 項目	評価
学	集中して取り組み課題に取り組んでいる。(学習態度、集中力、意欲や関心の発露等) 目標を達成し、自らで課題を解決している。(自主性、読解力、思考力) 提出物の連絡等	
習	集中力、意欲、人間関係等 集団に与じた態度や態度の成長等を評価している	
技	授業中に受けていた連絡した、自分からという気持ちで授業に取り組んでいる	
心	「つづきの自分の成長の様子や今後の成長を教師間で評価している」	
実	心も手帳や学習の状況や学習意欲など自分からという気持ちで授業に取り組んでいる。 生徒が受けていくことも、生徒が受けていくように指導している	
技	苦手さへの対応を自ら行っている、本人の得意さなどに着目して支援を継続している	
習	話す内容や態度に、一度にいろいろな情報をクラスに合せて発表している	
心	意欲を表現しているが、授業的な場面も含めて、発表や授業をしている	
実	「丁寧に」という態度を「果敢」といって、自らに「加減」を表現している、具体的には「取組むこと」と「自分から」ということ、授業の目標や課題、手帳等が視覚的に示されている	
技	持ち物や提出物の授業中の指示を受けて課題を達成できている	
習	授業の目標や課題を達成できている	
心	① クラスの状況を把握し「関心する」 ② 分析できている	評価

観点	ふりかえりの項目	チェック
授業前	学習 集中して取り組める環境づくりを心がけている（整理・整頓、気になる音や掲示物の除去等）	◎
	学習 必要な情報・分りやすいと提示されている（目録表・連絡情報・テストや提出物の連絡等）	◎
	環境 視力、集中力、人間関係等 実態に応じ配慮をして座席や机を設定している	◎
	環境 授業中に安心して聞道えたり、分らないことを質問しりきでるよう意識している	△
	安心 さまざまな生徒の様子や有効な支援を教師間で情報共有している	◎
授業中	環境 心も様子や進う生徒や普段目立ない生徒にも意識して声をかけている	◎
	環境 相談を受けていなくても、生徒が抱え（抱）や願いに目を向けている	◎
	環境 苦手さへの対応を考慮するだけでなく、本人の得意なことに着目して支援を検討している	◎
	伝え方 話す内容を精選し、一度に伝える情報量やクラスの生徒に合わせて調整している	△
	伝え方 言葉で説明するだけでなく、視覚的な提示を組み合わせ、理解を促す工夫をしている	◎
授業後	評価 「丁寧に」など曖昧な言葉や「あれ」「それ」など抽象的な表現を避け、具体的に指示している	◎
	評価 取り組むべきことが自分であるように、授業の様子や流れ、手順等が視覚的に示されている	◎
	評価 持ち物や提出物等の授業中の指示を後で確認できるようにしている	◎
*	教師の話を聞くための授業にないよう意識している	△
	例）クラスの生徒が集中して聞けるのは、15分程度なので、2回ペアワークをする	
	黒板（電子黒板）と同じ書式のワークシートを用意している	



観点	ふりかえりの項目	チェック
学習環境	集中して取り組める環境づくりを心がけている（整理整頓、気になる音や掲示物の除去等） 必要な情報が分かりやすく提示されている（目課表、連絡情報・ポストで提出物の連絡等）	
授業前	視力、集中力、人間関係等 実態に合った配慮をして座席や机を設定している	
安心	授業中に安心して聞きたり、分からないことを質問したりできるよう意識している	
安心	いつもとの生徒の様子や有効な支援を教師間で情報共有している	
環境	つまずきや怪しい生徒や普段目立たない生徒にも意図して声をかけている	
環境	相談を受けているだけでなく、生徒が抱える困りや顔にも意識して声をかける	
環境	苦手さへの対応を考えるだけでなく、本人の得意なことに着目して支援を検討している	
伝え方	話す内容を精選し、一度に伝える情報量をクラスの手合に合わせて調整している	
伝え方	言葉で説明するだけでなく、視覚的な提示を組み合わせて、理解を促す工夫をしている	
授業中	「丁寧に」など曖昧な言葉や「あれ」「それ」など抽象的な表現を避け、具体的に指示している	
枠組	取り組むべきことが自分ではかるように、授業の目標や流れ、手順等が視覚的に示されている	
枠組	持ち物や提出物等の授業中の指示先後で確認できるようにしている	
枠組	教師の話聞くだけの授業になっていないか意識している	
*	例）クラスの生徒が集中して分けるのに 15 分程度なので 2回ペーパーワークを する 黒板（電子黒板）と同じ書きのワークシートを用意している	板書 生徒 負担 支援

板書を写すなど、
書くことが苦手な
生徒がいる。書く
負担を軽減させる
支援が絶対必要！



授業中に困っている生徒

コミュニケーションや
対人関係に課題

人間関係に配慮して
話しやすいグループ
編成にする



<気になるAさんの姿>
グループワークに参加
せず寝ていることもあり、
班の中で苦情が出ている

困りの背景によって、有効な支援が違ってくる

「聞く」「話す」など
学習面に課題

不注意、多動など
行動面に課題

・付箋等で出た意見を視覚的に示しながら話し合えるようにする
・ICTを活用しながら、多様な話し合いへの参加の方法を保障する

・学習のめあてや方法を視覚的に示す
・教師の伝え方を見直す



話し合いのベース
についていけない
のかも...



聞き逃して、何を話
し合えばいいかわか
らないのかも...

困っている生徒にとって「必要な支援」を行い、
どの生徒にとっても「有効な支援」を充実させ
ていきましょう。



こちらも参考してみてください

【4】授業のユニバーサルデザイン化に向けて

授業のユニバーサルデザイン化に向けた考え方や取り組みについて、
具体例や振り返りシートを使った演習を通して学び合います。

- 研修概要
- 研修用資料等
 - 振り返りシート (PDF 287KB)
 - 振り返りシート解説編 (PDF 334KB)
 - 活用マニュアル (PDF 152KB)
- 研修対象
- 研修時間
- 研修人数等



解説編	
1	授業のユニバーサルデザイン化とは何か。授業のユニバーサルデザイン化の目的と意義。
2	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
3	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
4	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
5	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
6	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
7	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
8	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
9	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。
10	授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。授業のユニバーサルデザイン化の具体的な取り組み。